



## 2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 ダイトロン株式会社

コード番号 7609 URL <https://www.daitron.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前 績行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 毛利 肇 TEL (06) 6399-5041

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日 2019年9月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第2四半期の連結業績 (2019年1月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	29,457	3.4	1,240	△26.4	1,240	△28.3	806	△31.9
2018年12月期第2四半期	28,491	12.1	1,683	25.0	1,730	25.1	1,183	22.0

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 856百万円 (△21.5%) 2018年12月期第2四半期 1,090百万円 (3.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	72.70	—
2018年12月期第2四半期	106.82	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第2四半期	40,782	17,449	42.8	1,573.12
2018年12月期	43,114	16,977	39.4	1,530.94

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 17,446百万円 2018年12月期 16,973百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	20.00	—	35.00	55.00
2019年12月期	—	25.00	—	—	—
2019年12月期 (予想)	—	—	—	35.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,500	4.8	2,700	△23.9	2,750	△23.5	1,910	△16.0	172.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期 2 Q	11,155,979株	2018年12月期	11,155,979株
② 期末自己株式数	2019年12月期 2 Q	65,850株	2018年12月期	68,719株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期 2 Q	11,087,268株	2018年12月期 2 Q	11,080,152株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、2019年8月6日（火）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

当日使用する決算説明資料に関しては、決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

（日付の表示方法の変更）

第1四半期連結会計期間より、日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や所得環境は引き続き堅調に推移し、生産活動においても緩やかな回復基調が継続しているものの、設備投資に弱さがみられる等、景気の減速傾向が強まっております。世界経済につきましては、米中貿易摩擦の長期化や中東における地政学的リスクの影響が懸念され、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの属しておりますエレクトロニクス業界につきましては、国内外で自動車の電装化や生産現場の自動化に伴う産業用ロボットの導入など、様々な場面で電子機器・部品や生産設備の需要は底堅く推移しましたが、前述の世界経済の影響により生産動向は不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社グループは、「第9次中期経営計画(2017年～2020年)」の基本方針に基づき、オリジナル製品の拡販や成長性を重視した新市場の開拓、海外事業の拡大に取組みました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は29,457百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益は1,240百万円(前年同期比26.4%減)、経常利益は1,240百万円(前年同期比28.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は806百万円(前年同期比31.9%減)となりました。

セグメントごとの概況は、次のとおりであります。

当社グループは、「第9次中期経営計画」の事業戦略である「オリジナル製品開発の強化」「海外ビジネス展開の強化」に沿った計数管理及び情報開示を行うため、第1四半期連結会計期間より、従来「国内販売事業」セグメントに含まれておりました当社海外事業本部と「海外子会社」セグメントを統合し、「海外事業」として報告セグメントの区分を変更しております。

また、各セグメントの前年同期比較につきましては、前年同期の実績を変更後の報告セグメントの区分に組替えた数値と比較しております。

#### 国内販売事業

当セグメントにつきましては、製造装置では、半導体ウェーハの生産用に半導体製造装置の販売が、電子部品の生産用に電子部品製造装置の販売が、それぞれ好調に推移した一方、電子機器及び部品では、中国経済の減速による生産調整の影響を受け、半導体やロボット産業の生産設備向け「電子部品&アセンブリ商品」のコネクタやハーネスの販売が、半導体やフラットパネルディスプレイの生産設備向け「画像関連機器・部品」のカメラの販売が、それぞれ減少しました。また、データセンター向けの無停電電源装置(UPS)は、大型案件があった前年同期の実績に至らなかったことから、当セグメントの売上高は20,001百万円(前年同期比9.5%減)となりセグメント利益(営業利益)は420百万円(前年同期比47.8%減)となりました。

#### 国内製造事業

当セグメントにつきましては、製造装置を手掛ける装置事業部門は、半導体ウェーハの生産用に半導体製造装置の販売が、レーザーダイオードや電子部品の生産用に電子部品製造装置の販売が、それぞれ増加しましたが、前年同期の実績と比べ、開発コストが伴う新規製品の売上構成比が増加したことにより利益は前年同期の実績を下回りました。電子機器及び部品を手掛ける部品事業部門は、特殊コネクタの販売が減少したことから売上、利益共に前年同期の実績を下回りました。

この結果、セグメント間の内部売上高を含めた当セグメントの総売上高は4,735百万円(前年同期比6.5%減)となりました。また、外部顧客への売上高は1,611百万円(前年同期比2.5%減)となり、セグメント利益(営業利益)は409百万円(前年同期比42.7%減)となりました。

#### 海外事業

当セグメントにつきましては、電子機器及び部品では、北米及び東アジア市場にて「電子部品&アセンブリ商品」や「画像機器・部品」の販売が減少しましたが、東アジア市場にて「半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置」の販売が好調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は7,844百万円(前年同期比66.0%増)となり、セグメント利益(営業利益)は443百万円(前年同期比137.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度末との比較・分析を行っております。

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は34,061百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,393百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品が697百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が1,127百万円、電子記録債権が2,012百万円減少したことによるものであります。固定資産は6,721百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が108百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は40,782百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,332百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は20,335百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,797百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が969百万円、電子記録債務が2,077百万円減少したことによるものであります。固定負債は2,997百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は23,333百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,804百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は17,449百万円となり、前連結会計年度末に比べ472百万円増加いたしました。これは主に剰余金の配当388百万円の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益806百万円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は42.8%となり、前連結会計年度末との比較で3.4ポイント上昇いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)の残高は、前連結会計年度末と比較して10百万円減少し、8,912百万円となりました。

当第2四半期連結結果計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は572百万円の増加(前年同期は2,176百万円の増加)となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益1,236百万円、売上債権の減少額3,115百万円であり、主な減少要因は、仕入債務の減少額3,030百万円、法人税等の支払額787百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は186百万円の減少(前年同期は347百万円の減少)となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出133百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は363百万円の減少(前年同期は360百万円の減少)となりました。主な減少要因は、配当金の支払額387百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました「2019年12月期 第1四半期決算短信」に記載の内容から変更はございません。なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。今後、業績予想に関して修正の可能性が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,953,090	8,932,202
受取手形及び売掛金	12,634,263	11,506,782
電子記録債権	7,179,476	5,166,688
商品及び製品	2,828,349	3,525,541
仕掛品	1,881,288	1,780,305
原材料	323,398	346,927
その他	2,655,484	2,803,413
貸倒引当金	△217	△673
流動資産合計	36,455,135	34,061,186
固定資産		
有形固定資産	4,626,251	4,566,753
無形固定資産	115,380	127,980
投資その他の資産		
その他	1,924,673	2,033,439
貸倒引当金	△6,606	△6,606
投資その他の資産合計	1,918,067	2,026,832
固定資産合計	6,659,698	6,721,567
資産合計	43,114,834	40,782,754

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,093,771	6,124,723
電子記録債務	9,939,308	7,861,920
短期借入金	360,336	450,921
1年内返済予定の長期借入金	139,996	139,996
未払法人税等	819,622	475,905
賞与引当金	101,802	97,634
その他の引当金	40,145	58,399
前受金	3,378,335	4,294,384
その他	1,259,585	831,593
流動負債合計	23,132,904	20,335,478
固定負債		
長期借入金	171,682	101,684
退職給付に係る負債	2,748,484	2,827,303
資産除去債務	47,693	48,077
その他	36,721	20,719
固定負債合計	3,004,581	2,997,784
負債合計	26,137,485	23,333,262
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,200,708	2,200,708
資本剰余金	2,556,016	2,557,309
利益剰余金	12,271,669	12,689,635
自己株式	△52,481	△50,245
株主資本合計	16,975,912	17,397,408
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	362,484	447,939
繰延ヘッジ損益	△1,278	△242
為替換算調整勘定	△75,442	△125,904
退職給付に係る調整累計額	△287,692	△273,076
その他の包括利益累計額合計	△1,930	48,716
非支配株主持分	3,366	3,366
純資産合計	16,977,348	17,449,491
負債純資産合計	43,114,834	40,782,754

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	28,491,806	29,457,812
売上原価	22,295,090	23,629,249
売上総利益	6,196,715	5,828,562
販売費及び一般管理費	4,512,966	4,588,541
営業利益	1,683,749	1,240,021
営業外収益		
受取利息	1,155	1,488
受取配当金	11,954	10,415
保険配当金	6,194	11,351
補助金収入	59,087	8,026
雑収入	12,112	16,848
営業外収益合計	90,504	48,129
営業外費用		
支払利息	6,392	8,165
手形売却損	787	732
売上割引	7,451	8,278
為替差損	23,893	25,729
雑損失	4,912	4,611
営業外費用合計	43,437	47,516
経常利益	1,730,815	1,240,634
特別利益		
固定資産売却益	3,531	—
投資有価証券売却益	—	14
特別利益合計	3,531	14
特別損失		
固定資産除売却損	2,212	4,299
特別損失合計	2,212	4,299
税金等調整前四半期純利益	1,732,134	1,236,349
法人税、住民税及び事業税	588,174	460,744
法人税等調整額	△39,674	△30,415
法人税等合計	548,499	430,328
四半期純利益	1,183,635	806,020
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,183,635	806,020



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,183,635	806,020
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△74,368	85,455
繰延ヘッジ損益	△2,346	1,036
為替換算調整勘定	△40,724	△50,461
退職給付に係る調整額	24,645	14,616
その他の包括利益合計	△92,794	50,647
四半期包括利益	1,090,840	856,667
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,090,840	856,667
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,732,134	1,236,349
減価償却費	129,971	165,904
受取利息及び受取配当金	△13,110	△11,903
支払利息	6,392	8,165
固定資産除売却損益 (△は益)	△1,318	4,299
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△14
売上債権の増減額 (△は増加)	△517,916	3,115,775
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,037,486	△643,080
前渡金の増減額 (△は増加)	401,153	△102,475
仕入債務の増減額 (△は減少)	△582,191	△3,030,683
前受金の増減額 (△は減少)	127,718	919,663
引当金の増減額 (△は減少)	19,058	15,779
その他	294,344	△321,466
小計	2,633,721	1,356,312
利息及び配当金の受取額	13,205	11,902
利息の支払額	△8,970	△8,318
法人税等の支払額	△461,361	△787,387
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,176,593	572,509
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△326,942	△133,474
有形固定資産の売却による収入	9,343	801
投資有価証券の取得による支出	△10,710	△11,583
その他	△19,474	△41,865
投資活動によるキャッシュ・フロー	△347,784	△186,121
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	55,543	100,000
長期借入金の返済による支出	△69,998	△69,998
配当金の支払額	△332,279	△387,293
その他	△13,666	△5,713
財務活動によるキャッシュ・フロー	△360,399	△363,005
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36,037	△34,271
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,432,372	△10,888
現金及び現金同等物の期首残高	5,094,988	8,923,090
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,527,360	8,912,202

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内販売事業	国内製造事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,113,016	1,651,891	4,726,898	28,491,806	—	28,491,806
セグメント間の内部 売上高又は振替高	984,072	3,414,721	65,907	4,464,702	△4,464,702	—
計	23,097,089	5,066,613	4,792,806	32,956,508	△4,464,702	28,491,806
セグメント利益	805,284	715,160	187,194	1,707,639	△23,889	1,683,749

(注) 1. セグメント利益の調整額△23,889千円には、セグメント間取引消去△4,851千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△19,038千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内販売事業	国内製造事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,001,708	1,611,252	7,844,851	29,457,812	—	29,457,812
セグメント間の内部 売上高又は振替高	930,270	3,124,677	134,362	4,189,310	△4,189,310	—
計	20,931,979	4,735,930	7,979,213	33,647,123	△4,189,310	29,457,812
セグメント利益	420,579	409,929	443,893	1,274,402	△34,381	1,240,021

(注) 1. セグメント利益の調整額△34,381千円には、セグメント間取引消去△2,077千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△32,303千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、「第9次中期経営計画」の事業戦略である「オリジナル製品開発の強化」「海外ビジネス展開の強化」に沿った計数管理及び情報開示を行うため、第1四半期連結会計期間より、従来「国内販売事業」セグメントに含まれておりました当社海外事業本部と「海外子会社」セグメントを統合し、「海外事業」として報告セグメントの区分を変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。